



# 園だより

2025年2月1日  
末長こぐま保育園 辻 敦美

暦の上では春になる2月を迎えました。寒さの中にも、日中は少しずつ暖かい陽光を感じることもあります。まだまだ冷え込む日もあり、また、気温の変化が激しい毎日ですね。しかし、子どもたちは、冷たい空気を肌で感じながらお散歩や園庭、屋上など元気いっぱい戸外に出て遊び、「子どもは風の子」という言葉がぴったりです。今月も感染症対策を行い、健康管理に気をつけながら元気に過ごせるよう、職員一同努めてまいります。

## 保育園における「いのち」の授業とは

先日、小中学校で「いのちの授業」を行っていることをラジオで耳にしました。気になり調べて見ると、神奈川県教育委員会が出している「いのちの授業」ハンドブックや川崎市内の学校の指導案などを目にしました。趣旨としては、『いのち』のかけがえのなさや、夢や希望をもって生きること、人への思いやり、互いに支え合って生きることの大切さなどを実感してもらう様々な取り組みの中に「いのちの授業」を推進してきたと書かれています。乳幼児を預かる保育所は、小学校以降の生活や教育の基盤となるよう、生活を通じて創造的な思考や主体的な生活態度の基礎を培うことが重要であるといわれていますが、実際に『いのち』に関してどのような指導をしているのかをあらためて振り返る機会となりました。子どもたちは、生活の中で親しみやすい動植物に触れる場面がたくさんあり、例えば、虫探しが大好きで見つけるとじっと見つめたり手の平にのせたりしますが、「優しく触らないとだめだよ」と言葉にしています。また、草花を育てることを通して、毎日水をあげるお世話をすることで元気に育つことを知り、このような体験を繰り返しながらいたわったり大切にしたりする気持ちや、いのちの尊さを育てていきます。12月に4・5歳児クラスで給食を委託している富士産業の方が、魚の解体を行ってくださった時は、「いのち」をいただいているということをおみんなで考える時間となり、「大事に食べないといけないね」「残さないで食べよう」と話す姿が見られました。子どもたちは、様々な場面の中で「いのち」があることを知り、尊さに気付きます。そのような時に、私たち保育士は、共感しながら心に響き理解できる言葉で伝え、考える機会を作ることが大切であり、そのためにも、子どもたちがいのちに対しての気づきを見落とさないことが大事ではないかとあらためて思いました。そして、自分にも友だちにも「いのち」があり、それは、お父さんお母さんが他の何よりも惜しむことなく無償の愛で大切に守ってくれているということ、だからこそ自分も友だちも大事にしなくては行けないと伝え続けることが今できる「いのちの授業」なのではないかと考えます。

### ～今月の行事予定～

- 3日(月) 節分集会
- 4日(火) 発表会リハーサル(幼児クラス)
- 7日(金) 園医健診(0・1歳児クラス)  
英語で遊ぼう(幼児クラス)
- 12日(水) 発表会リハーサル(幼児クラス)
- 15日(土) 生活発表会(幼児クラス)

※登園は園庭から入室、降園は正面玄関からとなります。

※発表会当日はめろん組保育室も使用します。前日準備等でご迷惑をおかけしますがご協力をお願いします。

- 18日(火) ふれあい会(地域交流・5歳児クラス)
- 20日(木) 橘小学校へ訪問(5歳児クラス)
- 21日(金) 避難訓練  
英語で遊ぼう(幼児クラス)
- 25日(火) あそびのひろば
- 27日(木) 誕生会



### 🌸 懇談会ありがとうございました

先月は3・4歳児クラスの後期懇談会がありました。これで全クラスの懇談会が終わりましたが、保護者の皆様にはお忙しい中ご参加いただき感謝申し上げます。引き続き子どもたちが健やかに育ち、様々な経験が主体的にできるよう努めてまいります。

### 🌸 お知らせ

- ★AEDの設置場所ですが、玄関の配布物が置いてある棚に変更しましたので、ご確認ください。
- ★本日より「おがーる」システムが開始しました。アプリ登録のご協力、ありがとうございました。ご不明な点等ございましたら事務所までお声掛けください。